



## 北アフリカ地域ニュース

### リビア：対米関係・補償問題の進展

(5月31日付リビア・デイリー他)

5月31日付アラビア語ニュースサイト「アフバール・リビア」及び英語ニュースサイト「リビア・デイリー」は、テロ補償問題に関するリビア米国間の協議について報じている。

1. 29日及び30日、ロンドンにおいて、ロッカビー事件(死者270名)及びラ・ベル事件(死者3名、負傷者260名)の遺族に対する補償メカニズムに関する交渉が行われた。同交渉は、米国側からウェルチ中東担当国務次官、リビア側からオベイディ欧州担当外務副大臣が出席して行われた。
2. オエア紙(カダフィ指導者次男主宰)によれば、同交渉には、1986年に米国がリビアに対して行った爆撃の被害者(死者41名、負傷者226名)に対する補償問題も含まれていると伝えているが、米国務省関係者は、「確かにリビア側は同問題を提示したが、米国の国費がリビアの要求のために支出されることはなく、リビア側が要求を取り下げを望んでいる」と述べた。
3. なお、米国務省筋によれば、本件交渉には、少なくともあと5つのテロ事件の補償問題が含まれており、そのうちのひとつがUTA事件(死者170名)である。UTA事件については、2004年に1億7000万ドルの補償合意がなされたが、本年1月に米国の裁判所は、リビアに対して7名の米国人犠牲者の遺族に60億米ドル余りの補償命令を出している。